



虻 高 通 信

通巻No.58

平成27年6月8日

発行：北海道虻田高等学校（虻田郡洞爺湖町高砂町127番地5）

TEL：0142-76-2622

FAX：0142-76-2887

URL：<http://www.abukou.hokkaido-c.ed.jp>

地域に根ざした人材育成を目指して

北海道虻田高等学校長 舟山 栄治

新年度が始まり2ヶ月が過ぎました。日頃から「保護者」、「同窓会」、「虻田高校を支援する会」の皆様、さらに本校をご支援くださる洞爺湖町関係各位には、本校の教育活動にご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。4月8日に32名の新入生を迎え全校生徒87名となり新年度がスタートしました。この2ヶ月間、1年生の宿泊研修、洞爺湖マラソンボランティア、高体連・高文連など、一生懸命頑張る生徒の姿がとても印象的でした。生徒にはこれからも、学習、部活動、資格取得に取り組み、それぞれ個人の良さを最大限発揮して進路実現に繋げて欲しいと考えております。

ここ数年、世界の政治・経済・文化においてグローバル化の進展が目覚ましく、それが世界の潮流となっております。特に、「アジアの時代」とよく言われますが、生徒たちが二十年后、三十年後、社会で中心的に活躍する頃には、今以上にアジアの地位が高まっていると思います。日本はアジアの一員として、重要な役割を果たしていかなければなりません。これからは、世界の人たちを相手に、お互いを理解し、協調しながらビジネスを展開していくこととなります。その時に、日本人としての自信と誇りを持ち、日本について語れることが必要です。世界の人たちに日本の文化や魅力を伝えるとき、自分の生まれ育った故郷の自然や文化が原点となります。そのためには、我が故郷を愛し、学び、積極的にその文化を受け継ぐことが重要です。

今年4月から3年生全員が学ぶ学校設定科目「地域ビジネス」の一環として遊覧船ガイド育成に向けた取り組みを始めました。これは、北海道運輸局と連携して地域の有識者、専門家の講演や乗船研修などを通じて、ガイドとしてのスキルを身に付けることで、新たな観光資源の創造をねらいとしています。また、これらの学習は洞爺湖の自然や文化の魅力を再発見するとともに、コミュニケーション能力の育成にも繋がります。生徒が今回の取り組みを突破口として、地元の魅力を余すところなく発信できる人材となることを期待しているところです。

さて、6月に入り、気温も急に暖くなり、4月に生徒たちのボランティアで整備された花壇もとても綺麗になりました。この温暖な季節と相まって、これから生徒の活動もさらに活発になってくると思います。今年も、地域に貢献できる人材育成を目指し、教職員一同力を合わせて取り組んで参りたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



(毎年恒例の花壇整備)

(遊覧船観光ガイド育成プロジェクト)

1学年 宿泊研修

1年生の最初の大きな行事である宿泊研修を、「ネイパル森」において32名の生徒達が寝食を共にしながら、4月27日～29日までの2泊3日の日程で行いました。入学後のこの時期に集団づくりに重点を置いた活動を通して、お互いのコミュニケーションを深め高校生活の導入となるような企画を中心にプログラムが組まれました。



洞爺湖マラソンボランティア & 実習販売会

5月17日(日) 雨の降る中、第41回洞爺湖マラソン記念大会に全校でボランティア参加し、給水活動等のボランティア活動に精を出し大会運営に協力しました。

このイベントの開催に合わせて、3年の事務情報科の生徒が地場産品やお弁当の販売活動を行いました。今年で19回目を迎える企画ですが、生徒の包装をデザインした「お弁当」やどらやきをメダル風にアレンジした「どらメダル」を販売し広告宣伝から接客やレジ対応までの販売活動を実際の・体験的に学習しました。大量に仕入れた商品もすべて完売し盛況のうちに終了しました。



7月の学校祭のご案内

7月17日(金) 18日(土)に虹高祭が行われます。18日(土)が一般公開日になります。皆様のご来場を、全校生徒でお待ちしております！